

【件名】	路面補修工事(5北北の4)	【事務所名】	北多摩北部建設建設事務所	
【工事場所】	武蔵村山市本町二丁目地内から同市三ツ木五丁目地内まで	【受注者名】	株式会社瀧澤建設	
【工期】	令和5年8月2日から令和6年2月28日まで	【主たる技術者名】	浜村 和彦	

【工事概要】

工事延長 L=584.6m 車道幅員W=5.9m~11.5m

切削オーバーレイ工(ICT) 1,671m²
 道路打換工 2,271m²
 歩道舗装工 1602m²

【表彰理由】(※発注者側評価)

沿道住民に対し、毎週末に翌週の工事予定を記載した週間工程表を配布したり、営業店舗や駐車場前の施工の際に、直接住民と工事施工の打合せを行ったりするなど、地元の対応を積極的に行いトラブル防止に努めた。渋滞苦情により夜間施工へ変更したが、資機材・人員の円滑な手配、的確な工程計画の見直しなどを行うことで工期の遅延を防いだ。交差点部の施工に当たっては、施工区割りをバス会社と綿密に調整し、路線バスの転回を考慮した施工区割りを設定していた。切削オーバーレイ工のすべての施工プロセスにおいて、ICT施工技術を全面的に活用した。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

当初設計は昼間工事でしたが、渋滞による苦情で車道舗装工が夜間工事に変更になり、調整や広報に苦労しました。

◇ 特に工夫した点

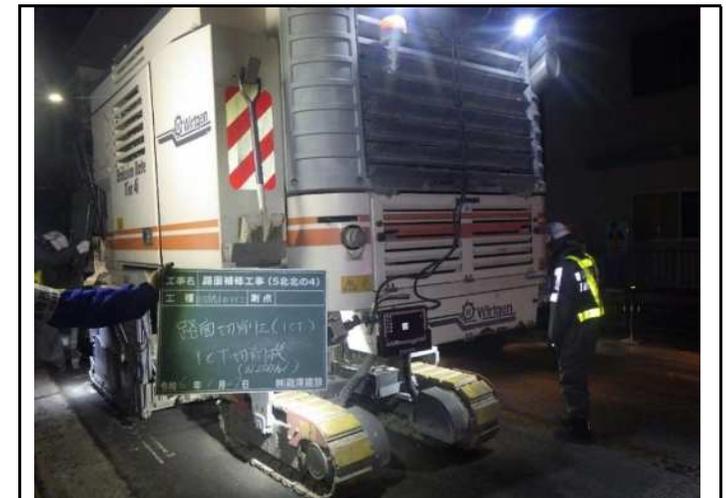
路面切削工をICT施工したことにより、切削深が自動取得出来るので検測要員が不要になり、また、重機周囲の人払いも出来て安全面でも効果的だった。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

苦労した分、工事が完成した時には大きな達成感が得られました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は色々苦労することが確かにありますが、それを乗り越えた時の達成感は大きく、やりがいのある業界です。



ICT路面切削状況